

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

学校経営論

(250 点満点)

以下の問題 1～問題 3 のすべてに答えなさい。

問題 1 学習指導要領の法的性格(法的拘束力)をめぐる議論の変遷について、以下の語句を用い説明しなさい。

試案 大綱的基準 旭川学テ最高裁判決 伝習館高校事件

問題 2 わが国の教科書制度の課題について、諸外国との比較を交えて論じなさい。

問題 3 日本の教育制度に関する以下の 4 つの用語のうち、2 つを選んで説明しなさい。なお、選択した語句の番号を明記すること。

1. 義務教育学校
2. 特別支援教育
3. 「チーム学校」
4. 学校選択制度

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育思想

(250 点満点)

以下の問題 1～問題 3 のすべてに答えなさい。

問題 1 学習指導要領の法的性格（法的拘束力）をめぐる議論の変遷について、以下の語句を用い説明しなさい。

試案

大綱的基準

旭川学テ最高裁判決

伝習館高校事件

問題2 ジョン・ロック (John Locke, 1632-1704) の『教育に関する考察 (Some Thoughts Concerning Education)』(1693) 第42節には、次のようにある。これを読んで、あとの1～3の問いに答えなさい。

(出典：ジョン・ロック『教育に関する考察』服部知文訳、岩波文庫、1967年、59頁)

1. 空欄①に入るように、次の英語原文①Aを日本語に訳しなさい。

① habits woven* into the very principles of his nature,

*weave: 織る、編む。

2. 教育において①Aを重視するロックは、子どもへの体罰に関してどのような意見を表明しているか、述べなさい。

3. ①Aを重視する立場の西洋教育思想史における意義について、具体的に例示しながら論じなさい。

問題3 次の人物の中から一人を選び、教育思想史という観点から説明しなさい。選択した人物の番号を明記すること。

1. プラトン
2. ジャン=ジャック・ルソー
3. ジョン・デューイ

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教師教育論

(250 点満点)

以下の問題 1～問題 3 のすべてに答えなさい。

問題 1 学習指導要領の法的性格(法的拘束力)をめぐる議論の変遷について、以下の語句を用い説明しなさい。

試案 大綱的基準 旭川学テ最高裁判決 伝習館高校事件

問題 2 日本の学校で行われてきた授業研究に対して諸外国から注目が集まり、多くの国でレッスン・スタディ (Lesson Study) として実施されています。日本の学校で授業研究が活発に行われてきた背景およびその特徴を説明しなさい。また、教師の学びの観点から、学校における授業研究の効果と課題を論じなさい。

問題 3 次の語句の中から 2 つを選んで、簡潔に説明しなさい。なお、選択した語句の番号を明記すること。

1. 師範学校
2. マイクロティーチング
3. リフレクティブ・プラクティショナー
4. ナラティブ

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

社会教育学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 次の文章を読み、現代社会における公共的意思決定に対し、生涯学習が果たすべき役割について述べよ。

注：JCO 事故：1999 年に茨城県東海村で発生した原子力事故で作業員が被曝し 2 名が死亡した。

出典：藤垣裕子『専門知と公共性』東京大学出版会、2003 年、pp. 5～9

問題2 グローバリゼーションの下での地域づくりと生涯学習の関連について述べなさい。

問題3 次の用語の中から2つを選んで簡潔に説明しなさい。選択した用語ごとに別の解答用紙を使用し、番号および用語名を明記すること。

- 3-1. 内発的発展
- 3-2. 地域学習
- 3-3. 農民大学運動
- 3-4. コミュニティ・アート

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

高等継続教育

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1. 次の文章を読み、現代社会における公共的意思決定に対し、生涯学習が果たすべき役割について述べよ。

注：JCO 事故：1999 年に茨城県東海村で発生した原子力事故で作業員が被爆し 2 名が死亡した。

出典：藤垣裕子『専門知と公共性』東京大学出版会、2003 年、pp. 5～9

問題2 グローバリゼーションの下での地域づくりと生涯学習の関連について述べなさい。

問題3 次の語句の中から二つを選んで説明しなさい。選択した語句の番号を明記すること。

- 3-1. アカデミックフリーダムと市民的自由
- 3-2. 新文化運動
- 3-3. 学生の地域活動と社会貢献
- 3-4. アクレディテーションと大学評価

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

産業教育

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 日本における職業と教育の関連について論じなさい。

問題 2 日本企業の労働過程の特徴について具体的に論じなさい。

問題 3 次の事項の中から 3 つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を解答用紙に明記すること。

- ① 職業安定法
- ② キャリア教育
- ③ 社会政策
- ④ ナショナルセンター
- ⑤ 技術革新

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育福祉論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 貧困に関する著名な研究を二つ取り上げ、それぞれの研究の概要（依拠している基礎的概念、考え方の解説を含む）を紹介した上で、教育のあり方を考えるうえでそれらの研究が持つ意味について論述しなさい。

問題 2 以下の 5 つのことがらから 3 つを選んで、それぞれ簡潔に解説した上で、関連する諸問題について論述しなさい。その際、選択した番号を明記すること。

- 1) ベバリッジ・プラン
- 2) 児童相談所
- 3) 子ども虐待
- 4) 就学援助
- 5) 女性の貧困とケア

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

発達心理学

(250 点満点)

以下の問題にすべて答えなさい。

問題1 子どもの発達的变化を記述し、説明する上で、「発達段階論」のもつ意義について論じなさい。

問題2 以下の6つの用語から3つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだか分かるように記述すること。

- (1) 外発的動機づけ (extrinsic motivation)
- (2) 効果量 (effect size)
- (3) アイデンティティ・ステータス (identity status)
- (4) 新生児微笑 (newborn smile)
- (5) 心の理論 (theory of mind)
- (6) 信頼性係数 (reliability coefficient)

問題3 日本の「いじめ」は諸外国と比べ、頻度はそれほど高くないが、深刻化の程度が高いことが知られている。なぜ日本の「いじめ」は深刻化するのか、主要な研究成果をあげるとともに、「いじめ」の対策を考えるうえで、どのような視点が必要かを論じなさい。

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

体 力 科 学

(250 点満点)

問題 1 科学的研究の手法として「縦断的研究法」と「横断的研究法」が挙げられる。人の健康や体力に関する教育学的研究を展開する上で、これら二つの研究法について長所と短所に言及しつつ、具体的な例を挙げて説明しなさい。

問題 2 スポーツ競技者における身体トレーニングとして、(1)筋力・筋パワーの増強を目的とするプログラムと(2)全身持久力の向上を目指すプログラムとに大別できる。各々のプログラムに着目して、トレーニング方法を論じなさい。

問題 3 超少子高齢社会を迎えたわが国において、からだと心のハーモニーを奏でる生活習慣の形成が望まれている。この背景にある健康諸問題を指摘して、生体機能との関係から健康の保持・増進の方策とその効果について論じなさい。

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

運動生理学

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 科学的研究の手法として「縦断的研究法」と「横断的研究法」が挙げられる。人の健康や体力に関する教育学的研究を展開する上での長所と短所に言及しつつ、これら二つの研究法について具体的な例を挙げて説明しなさい。

問題 2 外部環境と運動時の生理的応答の関係について論じなさい。

問題 3 以下の語句の中から 3 つを選んで説明しなさい。選択した語句の番号を明記すること。

- 1) サイズの原理
- 2) フィックの原理
- 3) スターリングの心臓の法則
- 4) 伸張反射
- 5) 相反性神経抑制
- 6) 交感神経

平成 29 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

身体教育学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 日本の中央教育審議会は、アクティブ・ラーニングを「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」とした上で、「どのように学ぶか」という学びの質や深まりを重視し、知識・技能の定着や学習意欲の向上に効果的な学習であると捉えている。上記のアクティブ・ラーニングについて、日本の学校教育の中で実施する際の問題点とより良いあり方について、あなたの考えを述べなさい。

問題 2 スポーツ傷害を予防するためには、身体のアライメント評価によって障害のリスクファクターを発見していく作業が重要になる。身体のアライメント評価の方法には、静的 (Static) な評価法と動的 (Dynamic) な評価法が存在し、とりわけ後者の評価法が重要であると言われている。そこで、動的 (Dynamic) な評価の方法について、具体的な例を挙げて説明しなさい。